為兼卿家歌合

一番　寄朝

春

はるかすみ　たなびくやまの　あけぼのに　ほのぼのとこそ　はるはきにけれ

右

前右兵衛督藤原朝臣為相

いにしへの　ふるのなかみち　ふりぬれば　ゆきのしたにも　はるはきにけり

寄歌神祇

しきしまの　みちのべにさく　さくらばな　ちりてのちこそ　あはれなりけり

二番

寄勝

藤大納言典侍

風はやく吉野のとをむしろ初のあけ方霞の花に時を分

右

ふと詠る月うつるみまゝ山の端の氏元卿の歌

中納言平朝臣経親

三番　春夕　藤大納言典侍

霞ゆく夕べとなれば春の山はまさるかゝ色の花

右

物の花ゆれかゝる夕べ雲ふかし春の山ゆきて雨の降

煙霞花鳥雖多陸奥梅柳所作殊勝矣

勝

四番　尤　弾親卿

くれゆくとふるの日ゆ春の山陰ひとつ残る雪の花

右　勝

物ふかき春の花のゆきとゝまるへかりける

中納言

春ふかき旬の花のゆきとゝまるへかりける

春の古寺淋しく侍るに東西白雪ふる時

五番　春夜

ゆくとしの名残をしく侍るの勝

勝

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八番　左方　前大納言典侍

[illegible]

右　為相朝臣

[illegible]

九番　左方　前大納言典侍

[illegible]

右　為相朝臣

[illegible]

十番　左方　経親卿

[illegible]

右　為相朝臣

[illegible]

十一番　夏夜

勝　為兼卿

庭しろく秋と覚へく新しく月は夏とうつ又はけく

左　経親卿

秋とは覚へ新しく詠る月も明る秋の夏の

十二番

持　為兼卿

夏夜の月西に傾

ねもとく鳴て忘れぬ郭公月は秋の光よりの

左　為相卿

秋の月は夏のよりけつ秋ぬ

十三番　秋朝　為兼卿

持　為相卿

夏歌とは句とは秋は句とは秋は

左　為兼卿

秋の月の夏の風も秋は

右　為相卿

夏の風の秋の朝の

左　為兼卿

秋の月の夏の風の

持　為相卿

十四番　藤大納言典侍
勝
小倉山ふもとの秋の夕しぐれ　紅葉の色やもみちそめけん
右
山ふかみ色ぬけのこる朝霧に　紅葉もぬきて道つたの
右首領の勝
十五番　秋夕　経親卿
持
光りなきふるさとの秋のゆふぐれ　ながめぬ人の袖ぞ露ける
右
為兼卿

丹閑
一
持
十六番　為相卿
持
ほのぼのと色のこる秋よあはれ　ながめぬ人の袖のつゆ
右　藤大納言典侍
鹿の声もみねのもみぢ葉　秋よりあきこそ哀なるか
持
十七番　秋夜　藤大納言典侍
持

月をいかゝ行くしるべ永くあはれ秋よ又ながらへぬる

右勝　　為忠卿

秋の所はしるべ月の雲をゝふきまぎれる鳥

きゝ寄宣仲朝臣　　右寄朝臣

しらぬ志もやさしく　　やゝふかく作る秋の

有もくるる色の為勝

十八番

きゝ　　為親卿

鳴らつる後年うつる世を嘆と秋文にあはせる

右勝　　為相卿

庭の面に落ちぬる秋の音ぞ

きゝやゝふかく作ると　　右八寄宣の

根遠時のまぬ秋のわれとも

ゆくゝやゝ作る　　仍為勝

十九番　　為朝

尤　　為親卿

結ぶるよ秋ふけしまてよ　　ひゝ

右勝　　為兼卿

ゆ寄しはや寄ふのきぬ山風の為

尤もくわのてはゝ　　右刻つくして　　為勝

廿番

[illegible]勝　為親朝臣

[illegible]

右　為兼大納言侍

[illegible]

廿一番

[illegible]勝　為相卿

[illegible]

右

[illegible]

廿二番

[illegible]勝　経親卿

[illegible]

右　為夫大納言侍

[illegible]

右兼好法師

廿五書　為定

左勝

風のもの数にあらぬ身なれども

右　為兼卿

[illegible]

歌句ともに必ずあるべきよし面白く

侍よし左右なく歌中よろしく

[illegible]

通ずべき歟乃至懐旧の思ひ深

みちなく勝負なきもなほ

廿四書　経親卿

[illegible]

源草はうつるの朱もわすれがたく侍の時の[illegible]の

右勝　乃相[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿三書　憲朝

左勝　為兼卿

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿八番

経親卿

[illegible]

右

[illegible]

以下闕

右為兼日家歌合依善政卿之勧投合

世番歌合

題

霞隔遠樹　羇中見花　雨後郭公

松下聴琴　山家秋月　湖上暁雪

嵐吹寒草　雲似白雪　逢不遇恋

寄神祇祝

作者隠名

吹　勝八頁　打二　点六

右　[illegible]

[illegible]　勝三頁二　打四　点一

大義の律師　勝四頁一　打四　点一